

令和 5年度

事務事業評価表 (令和 4年度 の実績評価)

記入年月日
令和 5 年 4 月 3 日

事務事業名		筑波高原キャンプ場管理運営事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040302000562
						単独/補助	単独	所属課	050301
政策体系	総合計画の施策名	0403 観光の振興						課長名	商工観光課
	政策名	04 活力ある産業のまちづくり						グループ	商工観光グループ
	施策名	03 観光の振興						担当者名	
	手段名	02 ②観光資源の充実と商品開発							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	07	01	04	01	00	観光事業		
法令根拠						桜川市筑波高原キャンプ場の設置及び管理に関する条例			
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)									

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>筑波山中腹の国有林野に位置する筑波高原キャンプ場の管理運営を行う業務である。 営業期間は5月1日～9月30日までの5ヶ月間 (平成30年度より7・8月以外は金・土・日のみ営業) 期間中は管理人をシルバー人材センターに委託している。主な業務内容は利用者の受付業務及び料金徴収のほか軽作業を行っている。 今後の方針としては、令和3・4年度継続事業である「筑波高原キャンプ場整備基本構想」に基づき再整備を進める。</p> <p>管理業務委託手続きのほか、管理計画の立案や予約者名簿の作成、そのほか利用者及び使用料金集計書の作成、並びに業務実績書の作成等。 国有林野貸付契約の更新業務。 茨城県自然環境整備交付金事業交付金の申請事務手続き等</p>	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移								
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
施設管理業務委託及び施設の修繕工事の発注	除草作業発注数	件	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	
	施設修繕工事発注数	件	5.00	6.00	5.00	5.00	5.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
筑波高原キャンプ場	敷地面積	m ²	33,437.00	33,437.00	33,437.00	33,437.00	33,437.00	
	利用者数	人	262.00	634.00	600.00	600.00	600.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
キャンプ場を整備し、安全でより快適な環境を利用者へ提供する	利用者からの事故報告件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量 (事業費) の推移			03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0		
		使用料・手数料	千円	132	326	300		
		その他	千円	0	0	0		
		一般財源	千円	8,035	9,069	2,651		
		事業費計 (A)	千円	8,167	9,395	2,951		
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			

04年度事業費 実績 (千円)			05年度事業費 予算 (千円)		
10 需用費	791		08 旅費	100	
11 役務費	135		10 需用費	837	
12 委託料	6,707		11 役務費	139	
13 使用料及び賃借料	803		12 委託料	1,006	
14 工事請負費	933		13 使用料及び賃借料	803	
15 原材料費	26		15 原材料費	66	
合計			9,395	合計	
				2,951	

(4) 当該年度の実施内容		05年度の事業内容		06年度の事業内容		07年度の事業内容	
※年度ごとに事業内容を記入する		管理業務委託。管理計画の立案。予約者名簿の作成。利用者・使用料金集計書の作成並びに実績書の作成。		管理業務委託。管理計画の立案。予約者名簿の作成。利用者・使用料金集計書の作成並びに実績書の作成。		管理業務委託。管理計画の立案。予約者名簿の作成。利用者・使用料金集計書の作成並びに実績書の作成。	
		※JRのデスティネーションキャンペーンの企画として、10月の営業を行う。					

事務事業名	筑波高原キャンプ場管理運営事業	事務事業No.	40302000562	所属課	商工観光課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
昭和41年5月から事業を開始している。 キャンプ場の形態は以前はオートキャンプが主流となっていたため、利用者は減少傾向にあったが、最近のキャンプブーム（特にソロキャンプ）により、利用者は増加傾向にある。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
有効活用を期待する声がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 筑波山登山の基地として宿泊ができ自然に親しめる施設である。 市の観光資源である貴重な植物や豊かな自然が体験できる観光施設であり、市の政策体系と結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 誰でも使用することが可能な市観光施設の管理事業のため、妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 老朽化施設の使用を休止しテントサイトのみの運営を行っている。今後は利用者の意向など踏まえつつ、キャンプや登山者等のアウトドアの拠点施設としてモンベル監修のもと施設整備を行っていくことから、向上余地がある。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 事業を廃止した場合には、国有林野返却に伴う原状回復などの費用が発生する。 また、施策で目指している滞在型観光の推進が図られなくなることから、影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 筑波山中腹にあり、近隣に市キャンプ場はないことから、統廃合の余地はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 施設管理はシルバー人材センターに委託しており、必要最低限の管理のため削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民、市民以外でも利用可能な施設であり、利用者には市条例で定めた料金を徴収しているため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	老朽化により危険な施設は利用を休止しているが、テントの利用率が高く施設の休止による苦情も特にならない。 コロナ禍の影響により一時休業を余儀なくされた。 令和4年度にキャンプ場整備基本構想を策定をした。今後は基本構想を基に整備を図っていく。																						
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		（複数回答可） <input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 老朽化した施設は早期に取り壊す必要があるが、滞在型観光を推進するためにはその他の施策を講じなくてはならない。今後はモンベル監修のもとキャンプ場全体の再整備（見直し）を図っていく。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ③																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認